



安倍政権 NO！労働法制の大改悪ストップ 建交労 11.8 中央行動に9名が結集！

建交労中央本部は、交運共闘や全労連、国民春闘共闘委員会とも連携し11月8日に恒例の「秋の中央行動」を実施しました。全国各地から結集した約260名の建交労のなかまは、交運共闘主催の国土交通省前行動への参加からスタートしました。この行動は、規制緩和がいち早く推進され、労働者への犠牲が顕著にすすんできた交通運輸分野で働くなかまの要求実現をはじめ、安倍政権による憲法9条改悪や労働法制大改悪に反対する個人請願行動がメインです。



交運共闘による国交省前での行動

この日の国土交通省と厚生労働省に対する請願行動には交運共闘（建交労、自交総連、検数労連、港湾労組、国土交通労組）のなかま約800人が参加しました。



交運共闘による厚生労働省への請願行動

このなかで、建交労神奈川県本部からは高橋書記長と川崎学童保育指導員支部の2名、それに神奈川県南支部の9名（佐藤委員長、斎藤副委員長、大島書記長、金崎書記次長をはじめ内外液輸分会、扶桑運輸分会、三昭運輸分会、東進産業分会、合同分会から各1名）計12名が参加しています。

10時30分にはじまった国交省前行動は鈴木正明・交運共闘事務局長（建交労書記次長）が全体を進行し、各産別の代表による発言では、建交労埼玉トラック部会の鈴木洋平事務局長がトラックの深刻な現状を打開する決意表明をおこないました。交運共闘は、国交省への請願行動につづいて厚生労働省前に移動して厚労省への請願行動をおこないました。

建交労はその後、昼食休憩をはさんで日比谷野外音楽堂で行われた全労連・国民春闘共闘・国民大運動実行委員会の共催による“中央総決起集会”に参加する仲間と、参議院会館で関係省庁との交渉をおこなうなかま、ゼネコン要請に参加するなかまに別れてそれぞれの行動に入りました。“中央総決起集会”では、建交労東京都本部の笹原常任執行委員が決意表明をおこなっています。

さらに“中央総決起集会”に参加したなかまは、トラック部会、学童保育部会の行動と国会請願デモに参加するなかまに分かれて行動。神奈川県南支部の参加者は、佐藤委員長と三昭運輸分会の清野委員長が厚生労働省との交渉に参加し、斎藤副委員長、大島書記長など6名が国会議員要請を行ない、他の1名が国会請願デモに参加して行動を終えました。



集会で発言する建交労の笹原さん



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。



人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031